

(平成21年12月24日付け学長通知における様式1-1)

指導(担当)教員の署名

休学願

年 月 日

岡山大学
医歯薬学総合研究科長 殿

学部・研究科等 医歯薬学総合研究科
 学科・課程・専攻等 生体制御科学 病態制御科学
 機能再生・再建科学 社会環境生命科学
 医歯薬学(博士) 医歯科学(修士)

学 生 番 号 _____

氏 名 _____

このたび、下記により休学いたしたいので関係書類を添えてお願いします。

年 月 日から

休学期間

年 月 日まで

休学の理由 (該当の理由に○をつけてください)

1. 病気、けがのため
2. 意欲喪失
3. 学業不振
4. 進路再考
5. 家庭の事情
6. 経済的理由
7. 勤務の都合
8. 留学等のため(留学・語学研修・海外インターシップ・海外ボランティア)
(留学先国・地域名 _____)
(留学等予定期間: 年 月 日～ 年 月 日)
9. その他 簡単に理由を記入してください
(_____)

※留意事項

1. 氏名欄への署名は、必ず本人が自署してください。
2. 病気、けがの場合は医師の診断書を添付してください。
3. 裏面の理由書に理由を記入してください。

事務確認欄: 授業料納入 済未 奨学金 有無 既休学期間 (____年____ヶ月)
(休学中)

授業料免除申請 有無

卒業時期延長の有無・授業料徴収額に関する説明 システム入力

今回申請分に係る授業料徴収・免除月数 (授業料減免となる月に☑を入れる。)

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	授業料徴収月数 _____ 月分	授業料免除月数 _____ 月分
4月	5月	6月	7月	8月	9月		

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	授業料徴収月数 _____ 月分	授業料免除月数 _____ 月分
10月	11月	12月	1月	2月	3月		

(※ 授業料免除月数は1学期あたり2月とする。)

「休学願」提出時アンケート【博士課程学生用】

今後の参考にさせていただくため、下記の項目についてお教えてください。(該当に○をして下さい。)

1. 学系と基礎・臨床の別をお教えてください。

- (a) 医学系・基礎 (b) 医学系・臨床 (c) 歯学系・基礎 (d) 歯学系・臨床 (e) 薬学系

2. 今回の休学願提出でトータルの休学期間をお教えてください。※(注)を参照のこと

- (a) 1年以内 (b) 2年以内 (c) 3年以内

3. 休学の主な理由を次のうちからお教えてください。

- (a) 病気、けがのため (b) 意欲喪失 (c) 学業不振 (d) 進路再考
(e) 家庭の事情 (f) 経済的理由 (g) 勤務の都合 (h) 留学のため
(i) その他 簡単に理由を記入してください

(_____)

4. 講義の単位修得状況をお教えてください。

- ・ 研究方法論 (基礎・応用) … (a) 単位修得済 (b) 復学後修得予定
・ 課題研究セミナー …………… (a) 単位修得済 (b) 復学後修得予定
・ その他専門科目 …………… (a) 単位修得済 (b) 復学後修得予定

5. 平成20年度以降から令和4年度入学の方については履修コースをお教えてください。

- (a) 一般コース (b) 臨床専門医コース (医学) (c) 臨床専門医コース (歯学)
(d) がんプロコース (e) 国際臨床研究コース (f) 高齢者在宅緩和医療コース
(g) がんプロコース (医学) (h) がんプロコース (薬学) (i) 分子イメージング教育コース

6. 令和5年度以降入学の方については履修プログラムをお教えてください。

- (a) 医学学位プログラム
(b) 包括がん研究者・研究医養成プログラム がん研究者コース
(c) 包括がん研究者・研究医養成プログラム がん研究医コース
(d) グローカル医療人養成プログラム
(e) メディカルデータサイエンスイノベーター(MDS)養成プログラム ビッグデータ解析コース
(f) メディカルデータサイエンスイノベーター(MDS)養成プログラム・医療 AI 応用コース
(g) 歯学学位プログラム
(h) ボーダレス歯学研究者養成プログラム
(i) 薬学学位プログラム

7. これまでの研究の進捗状況をお教えてください。

- (a) 研究計画の段階 (b) 実験・調査等によりデータ収集の段階
(c) 論文の草稿を作成する段階 (d) 論文を投稿前の段階
(e) 論文のアクセプト待ちの段階 (f) 論文はアクセプト済み

8. 指導教員と休学期間終了後の復学後の計画をお教えてください。

- (a) 相談済み (b) 今後相談予定 (c) その他 (_____)

(注) 休学期間最長は3年です。申請期間の提出具合によっては3年とならない場合があります。
詳しくは、大学院担当、歯学部担当、薬学部教務学生担当へ相談ください。

《 休学に関する注意事項 》

- ◆ **休学が許可されるには、事前に会議で承認される必要があります。**

希望する休学開始月の前月の1日（1日が休日の場合は、その翌日）までに事務担当（ページ下）へ「休学願」を提出してください。

ただし、休学を審議する会議の日程の都合上、前々月の末日までに「休学願」を事務担当へ提出していただくことがあります。

- ◆ **休学が認められるのは、通算で3年までです。**

「休学願」を提出すれば必ず許可されるというものではありません。事前に事務担当に相談してください。

2ヶ月未満の休学については認められませんので、通算2年11ヶ月の休学をしている場合、それ以上の休学は出来ません。課程修了の時期にも影響する場合がありますので、ご注意ください。

現在までの通算休学期間が不明な方は事務担当にお問い合わせください。

- ◆ **授業料と休学期間について**

授業料の前期分を5月に、後期分を11月に支払うことになっていますので、休学の期間については、

$\left\{ \begin{array}{l} 4/1 \sim 3/31 \text{ (1年間)} \\ 4/1 \sim 9/30 \text{ (半年間)} \\ 10/1 \sim 3/31 \text{ (半年間)} \end{array} \right\}$ の3パターンのいずれかをお勧めします。

原則として休学期間中の授業料は免除されますが、上記3パターン以外の期間を希望する場合は、休学が許可されても授業料が免除されない場合もありますので、早めに事務担当へ相談してください。（課程修了の時期にも関係します。）

翌年度の4月以降も休学を希望する場合は、直前の2月中に翌年度分の「休学願」を提出してください。

【注意】休学開始期間以前の授業料について

休学願を提出する際には、休学開始日のある半期の前の半期の授業料を納入していることが必要です。

例えば、後期から休学しようとする場合は、前期分の授業料を納入しておく必要があります。ただし、前期分の授業料が免除されている場合は、前期分の授業料の納入は不要です。

- ◆ **許可された休学期間を過ぎると自動的に復学となります。**

自動復学には手続きが不要のため、許可された休学期間以降も休学を継続しようとする場合は、休学期間終了前に再度「休学願」を提出してください。休学期間終了前に「休学願」が提出されない場合は、復学後の授業料を支払う義務が生じます。

※ 休学は、事務担当が「休学願」を受理する前の月日にさかのぼって願出することはできません。必ず、休学を希望する期間より前に事務担当に「休学願」を提出する必要があります。

事務担当： (医学系) 大学院担当 (内線:7986, 外線:086-235-7986)
(歯学系) 歯学部担当 (内線:6627, 外線:086-235-6627)
(薬学系) 教務学生担当 (内線:7923, 外線:086-251-7923)